

トピックス

東南アジア等で流行している「重症急性呼吸器症候群」関連情報(第 2 報)

今年の 2 月中旬以降、ベトナムのハノイ、香港などで、原因不明で重篤な急性呼吸器感染症が流行しています。これまでに、1, 323 名の患者（疑いを含む）（中国広東省で 792 人...この数だけは昨年 11 月 16 日から今年 2 月 28 日までの数、香港で 316 人、シンガポールで 74 人、ベトナムで 58 人等）と少なくとも 49 名の死亡者が発生しています（3 月 26 日現在 WHO（世界保健機関））。WHO は、この原因不明の感染症に関して、3 月 13 日に世界各国に「緊急渡航情報」を発信し、病気の特徴などを公表し、その後も情報の更新を継続し注意を呼びかけています。我が国の厚生労働省でも WHO の情報を受け、全国の自治体、医療機関等に関連情報を伝え、疑わしい患者の発生報告を依頼し、3 月 26 日までに 8 例（「疑い例」（7 例）、「可能性例」（1 例））が報告されていましたが、同日開催された厚生労働省の SARS 対策専門委員会により、全例が SARS ではないと判定されました。その後、一例の「可能性例」（広島県内の 20 歳代の男性で、台湾旅行から帰国）が報告されましたが、この症例については、詳細は不明です。



現在までのところ、確認されたほとんどの患者が、患者の医療に携わった医師、看護師などの医療従事者、それに患者と同居している家族に限られています。新聞報道等では、中国広東省で 792 人の感染者と 31 人の死亡者が、また、シンガポールでは幼稚園、学校等での 74 人の感染者の発生を受けて、感染の可能性のある家族ら 700 人以上に自宅待機が命じられたと報道されていますが、現段階では中国広東省の報告はこの重症急性呼吸器症候群に該当するか否かが確認中であり、また、シンガポールにおける自宅待機の措置は感染の可能性のある人を対象とした現地の特殊事情による、あくまで念には念を入れた対策だとされています。可能性は非常に低いものの、我が国から香港や中国広東省、それに、ハノイ、シンガポールなどへの渡航者が非常に多いことを考えると、我が国にこの重症急性呼吸器症候群が侵入する可能性も考えておく必要があります。前述の地域（香港、ハノイ、シンガポールなど）に滞在した後 2 週間以内.....現時点で WHO は潜伏期を 2 ~ 7 日としています....に疑わしい症状を示しているヒト、それに、それらヒトを診療する各医療機関においては、下記の WHO の症例定義を参考にして、適切な対応を取ることが強く勧められます。

原因不明の重症急性呼吸器症候群の症例定義

○ 疑いのあるもの

2003 年 2 月 1 日以降に以下の全ての症状を示して受診した患者で

- ・ 38 度以上の発熱
- ・ 咳、息切れ、呼吸困難感などの呼吸器症状

かつ、以下のいずれかを満たす者

- ・ 原因不明の重症急性呼吸器症候群の発生が報告されている地域(*)へ旅行した者
- ・ 原因不明の重症急性呼吸器症候群の症例を看護・介護するか、同居しているか、濃厚接触するか、患者の気道分泌物、体液に触れた者

* WHO による 3 月 26 日現在の発生地域（地域内での伝播が確認され、WHO に公式報告された地域）は以下のとおりです。

香港、シンガポール、ハノイ（ベトナム）、トロント(カナダ)
台湾、中国（広東省）、

○ 可能性のあるもの

上の○疑いのあるもののうち、

- ・ 胸部レントゲン写真で肺炎、または呼吸窮迫症候群の所見を示す者

○ 予防方法

- ・ 原因は今のところ不明です。しかしながら、ウイルス分類上は麻疹（はしか）やおたふく風邪の原因となるウイルスが属するパラミクソウイルスの新種、それに、インフルエンザではなく普通のかぜの原因となるウイルスの 1 つであるコロナウイルスの新種が複数の患者検体から分離されていることから、現時点では原因として有力視されています。いずれにしても、医師や看護師、それに患者と同居する家族など患者との濃厚接触者から多くの患者が発生していることを考えると、うがいや手洗いの励行など、一般的な衛生状態の保持は有効だと考えられます。
- ・ WHO は当該地域への渡航に関して制限をしていますが、米国 CDC は香港、中国広東省、ハノイ（ベトナム）などへの渡航に関し、絶対的な必要性がないかぎり延期を考慮するようにとしています。

* なお、感染源、病原体の確定など新たな情報が入り次第、再度この週報トピックスで皆様にお知らせします。

参考

WHO (<http://www.who.int/en/>)

Severe Acute Respiratory Syndrome (SARS) を参照してください。

厚生労働省 (<http://www.mhlw.go.jp/index.html>)

東南アジア等で流行している「重症急性呼吸器症候群」関連情報

(<http://www.mhlw.go.jp/topics/2003/03/tp0318-1.html>) および

伝播確認地域 (<http://www.mhlw.go.jp/topics/2003/03/tp0318-1e.html>) を参照してください。

感染症情報センター (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

緊急情報 重症急性呼吸器症候群

(<http://idsc.nih.go.jp/others/urgent/update.html>) および

伝播確認地域 (<http://idsc.nih.go.jp/others/urgent/area-02.html>) を参照してください。

流行状況

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

* レンサ球菌のうち血清型分類のA群に分類されるものによる上気道感染症

定点当たりの報告数は1.1（前週1.3）と**同程度に推移**

感染性胃腸炎

定点当たりの報告数は7.2（前週8.2）と**やや減少**

水痘（みずぼうそう）

定点当たりの報告数は1.9（前週2.4）と**やや減少**

咽頭結膜熱

発熱・咽頭炎・結膜炎を主症状とする急性のアデノウイルス感染症

定点当たりの報告数は0.05（前週0.13）と**やや減少**

インフルエンザ

定点当たりの報告数は2.5（前週2.9）と**同程度に推移**していますが、定点の先生方からのコメントでは、インフルエンザB型の報告が目立ちます。

厚生労働省インフルエンザ対策キャンペーンホームページ

インフルエンザQ & A、キャンペーンポスターなどがダウンロードできます。

<http://influenza-mhlw.sfc.wide.ad.jp/>



感染症についての説明及びグラフ総覧については、愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。

（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>）

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌O1 2歳男、4歳男、6歳男

病原性大腸菌O8 14歳男

病原性大腸菌O20 8歳男

病原性大腸菌O25 1歳女

病原性大腸菌O124 6歳女、8歳女

【尾西市 城後小児科】

感染性胃腸炎が目立つ

【一宮市 後藤小児科医院】

インフルエンザ全く無し

【一宮市 医療法人かすが内科】

A 群溶連菌が急増しています。

【犬山市 武内医院】

インフルエンザが一部の保育園で流行しています。（計 11 名ありました。）

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

ロタウイルスによる胃腸炎、アデノウイルスによる咽頭炎が増加しています。

【江南市 河野小児科】

インフルエンザ 7case 全て B 型です。タミフル効きにくい例もあり。
急性胃腸炎まだまだ多いようです。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

8 歳男、13 歳男 マイコプラズマ肺炎

52 歳男 病原大腸菌 O25 検出されました。

【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

B 型インフルエンザ 2 例

マイコプラズマ感染症が相変わらずみられます。

ヘルペス歯肉口内炎 1 歳男 3 例

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

インフルエンザ 2 名のみ（いづれも B 型で家族内感染でした。児 母親）
マイコプラズマ感染症多くみられます（幼児～成人まで）。

ロタ下痢症も多くみられますが重症脱水例はありませんでした。

成人男で児からの流行性耳下腺炎で、睾丸炎合併例あり。（前週報告分）
その他、溶連菌、突発症、水痘散発

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

12 歳女 サルモネラ s p .04

ロタ胃腸炎 流行つづいています。

インフルエンザは B 型が少々のみ

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

今週はロタウイルスによる感染性胃腸炎が多くみられました。

【春日井市 かちがわ北病院】

ロタウイルス胃腸炎の入院目立つ

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザもまだパラパラあります。

感染性胃腸炎が多いです。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルエンザ B の小流行が見られます。

ロタウイルス腸炎が相変わらず多く、麻痺性イレウス^{*1} が 3 例ありました。

【小牧市 志水こどもクリニック】

^{*1} イレウス：腸閉塞

インフルエンザ B (兄も B) 水痘ワクチン接種者

【半田市 医療法人林医院】

アデノウイルス 1 件

【東海市 東海市民病院】

西三河地区

病原大腸菌 O 25 1 歳女

サルモネラ、病原大腸菌 O 18 4 歳男

B 型インフルエンザ 4 名 (4 歳女 2 名、5 歳男、6 歳男)

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

インフルエンザ A 型 2 名

インフルエンザ B 型 2 名

【豊田市 田中小児科医院】

9 歳男 病原性大腸菌 O 111

5 歳男 病原性大腸菌 O 1

【岡崎市 医療法人深田小児科】

インフルエンザは B 型 2 名のみでした。

下痢でロタウイルス陰性のもの多いです。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

B 型インフルエンザ 2 名

7 歳女 病原性大腸菌 O 1 V T (-)

10 歳男 病原性大腸菌 O 18 V T (-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

インフルエンザ A 型 5 歳女

インフルエンザ B 型 24 歳女、8 歳女と 36 歳女の母娘

【岡崎市 栗屋医院】

ロタ (+) 6 名

【刈谷市 田和小児科医院】

インフルエンザ B 型 24 人、インフルエンザ A 型 2 人

【知立市 宮谷クリニック】

インフルエンザ A 型 3 人、B 型 1 人

胃腸炎増加

【西尾市 やすい小児科】

インフルエンザ B 型散見 5 人

溶連菌、アデノも認められます。

【西尾市 山岸クリニック】

1 ヶ月、1 歳、4 歳女 ロタウイルス腸炎

7 ヶ月男 病原菌大腸菌 O 8 V T 1 (-)、V T 2 (-)

インフルエンザ A 型 1 歳男

インフルエンザ B 型 2 歳、4 歳男

【幸田町 とみた小児科】

感染症胃腸炎がまだ目立ちます。

【三好町 三好町民病院】

東三河地区

3 歳男、インフルエンザ B で熱性ケイレンあり、ワクチン 2 回接種。インフルエンザ B 型流行中

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
まだまだインフルエンザ流行あり、16 名すべて B 型です。

【豊橋市 野村小児科】
週末に溶連菌が増えてきました。（地域はいろいろです）

【豊橋市 富田小児科】
2 ヲ所くらいの施設にて水痘流行あり。
今週も感冒性胃腸炎が目立つ

【田原町 かわせ小児科】

3 / 19 現在 ロタウィルス感染症 18 人 入院中

【蒲郡市 蒲郡市民病院】

1～3 類感染症の発生状況（愛知県）

腸管出血性大腸菌感染症

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	菌型等	備考
1	一宮	50	男	3 / 14	3 / 15	3 / 20	O157	VT1 (+) VT2 (+)

全数把握の 4 類感染症の発生状況（愛知県）

エキノコックス症 1 例

梅毒 1 例

第10週(15年3月3日~3月9日)の4類感染症 (全国)

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去3年間の同時期で定点当たり報告数が最も多かった2002年(0.16)と同値であった。都道府県別では青森県(1.3)、新潟県(1.1)からの報告が多い。他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて特別多くなっているはいない。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続して増加し、石川県(4.0)からの報告が最も多い。水痘も増加し、都道府県別では沖縄県(8.7)、佐賀県(3.4)、高知県(3.4)からの報告が多い。風疹は岡山県(0.4)からの報告が前週より増え、全体の3割を超えている。流行性角結膜炎の定点当たり報告数もわずかに増え、愛媛県(2.4)と茨城県(2.1)からの報告が多い。麻疹(成人麻疹を除く)の定点当たり報告数は前週より微減したが、引き続き宮崎県(0.8)と福島県(0.7)からの報告が多い。感染性胃腸炎は全体ではわずかに減少したが、半数以上の都道府県で増加している。19都道府県から2桁の報告があり、宮崎県(24.4)、富山県(22.4)、大分県(22.4)からの報告が多い。インフルエンザは第4週に今シーズンのピークを迎えた後、減少を続けており、定点当たり報告数は11.1となった。広島県(1.2)を始め4都道府県では5.0を割ったが、山形県(33.9)、秋田県(31.9)、岩手県(31.6)の3県からの報告は依然多い。山形県(28.5 33.9)と佐賀県(13.5 25.5)では、3週連続して報告数が増加している。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センタ - 感染症情報室提供)

詳細は感染症情報センタ - のホ - ムペ - ジ (<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>) の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県感染症情報

2003年第12週 (平成15年3月17日～3月23日)

愛知県衛生研究所

		定点数																									
愛知県		インフルエンザ	小児科	眼科	S T D	基幹	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
愛知県 (名古屋市を含む)		191	182	35	51	13	468	10	208	1,316	341	27	17	99	4	2	2	2	87	0	11	0	0	0	0	0	0
総数 (名古屋市は除く)		121	112	24	37	12	376	7	149	949	296	24	12	76	4	2	2	1	80	0	8	0	0	0	0	0	0
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1	92	3	59	367	45	3	5	23				1	7		3						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	18		17	55	7			8	2		2		12		1						
海部津島	津島	7	7	2	2	1	7		4	52	11			2													
尾張中部	師勝	4	4	1	1		3		1	54	3	1		1		1											
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	23		6	105	24	1	2	12	2				4								
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	50		12	110	28	1	3	14					3								
	江南	6	6	1	2		19		11	92	15	9		6							1						
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1		5	39	9			1					8								
	知多	7	7	2	2		22		13	44	6			2													
西三河南部	岡崎	11	7	2	2	1	15		3	5	30		1	11					7		1						
	衣浦東部	11	11	2	4	1	62		19	59	35	3	4	7					24		3						
	西尾	5	5	1	2	1	13	5	10	34	16	2		5					5								
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	19		4	68	23	1		1		1		1	12		1						
	加茂	3	3		1				4	24	3	2							1								
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	60	2	28	128	44		2	3							1						
	豊川	9	8	1	2	1	60		12	80	42	4		2					3								
東三河北部	新城	2	2			1	4							1					1								

2003年第12週 (平成15年3月17日～3月23日)

[illegible]

愛知県感染症情報

2003年第1週～第12週(平成14年12月30日～平成15年3月23日)(累計)

愛知県衛生研究所

		定点数					インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
愛知県		インフルエンザ	小児科	眼科	S T D	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)		191	182	35	51	13	47,269	145	1,971	13,704	4,441	209	298	1,242	11	10	41	22	1,005	13	169	1	0	4	23	0	1
総数 (名古屋市は除く)		121	112	24	37	12	38,104	118	1,428	9,485	3,746	159	241	989	8	6	29	16	844	12	123	1	0	4	23	0	1
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1	9,165	27	543	4,219	695	50	57	253	3	4	12	6	161	1	46						
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	2,735	23	151	447	167	5	4	58	3	1	5		105	1	4						
海部津島	津島	7	7	2	2	1	1,330	17	26	539	210	4	11	39				1	18		4						
尾張中部	師勝	4	4	1	1		1,372		15	595	34	7	7	15		1	6		4		5						
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	2,690	1	104	1,013	364	22	24	118	4		1	1	67	1	3			1			
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	4,234	5	109	649	206	17	19	97	1		3	1	70		12	1					1
	江南	6	6	1	2		1,496	2	68	831	189	21	11	67					36		11						
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1,914	4	56	373	87	5	1	64				1	68		9				1		
	知多	7	7	2	2		2,353	6	96	697	217	10	4	73				1	14		5						
西三河南部	岡崎	11	7	2	2	1	4,148		116	71	453	5	25	107					114	1	15						
	衣浦東部	11	11	2	4	1	5,825	9	150	664	403	9	34	113			4	5	146		23			2	5		
	西尾	5	5	1	2	1	1,174	7	83	416	212	5	24	43					49		2			1	4		
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	2,391	9	61	605	316	7	10	55		4	5	4	104	7	16				6		
	加茂	3	3		1		489	10	63	201	59	9	1	14					19								
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	2,930	25	216	1,475	398	13	49	60			3	1	7	1	11				5		
	豊川	9	8	1	2	1	2,774		113	909	409	20	17	55			2	1	18	1	3				2		
東三河北部	新城	2	2			1	249		1		22			11					5								

2003年第1週～第12週(平成14年12月30日～平成15年3月23日)(累計)

[illegible]